

令和7年度防災研修ご報告

令和7年11月9日（日）あいにくの雨の中、65名の参加者が、バス2台に分かれて乗車、本日の目的地まで出発いたしました。

今回の研修場所は、堺市総合防災センターで、120分コースの研修。

4組見分かれての、学習を行いました。まず、全員での映像による災害学習。国内で発生している災害を振り返りました。

次に、応急救護学習、突然の心停止で倒れた人の蘇生方法を学びました。

胸骨圧迫訓練、AED操作の説明を受けました。

次に、煙中・暗闇の中での避難姿勢を学び、誘導灯の有無で避難のしやすさを学びました。次に、実火を使用しての初期消火体験。

次に、地震体験、直下型（阪神淡路大震災）、海溝型（東日本大震災）、熊本地震、関東大震災の震度の体験（手すりをもっていないと倒れそうになる）を行いました。最後に防災情報コーナーにて、「ナゾトキ防災学習ラリー」を用いて、地震・津波、大雨・洪水、土砂災害、台風、高潮、雷・竜巻等の災害について、災害の概要を学びました。全員に修了証書をいただきました。

非常に充実した内容で、堺市の防災に対する取り組みがいかに大切なことであるかが伝わりました。

木津川市においても、京都府南部の防災拠点として、何らかの対策を講じて頂ければありがたいと思います。

研修終了後、昼食を「はや総本店」で行い、木津町区民の親睦を深めていただきました。泉佐野青空市場での新鮮な魚介類のお買い物、雨のためミカン狩りは止む無く中止となり、岸和田サービスエリアでの休憩、帰りは、予定より30分早く午後5時過ぎに戻ることができました。

今回の防災研修により、木津町区皆様方の日頃の防災意識が少しでも高まれば幸いかと存じます。

木津町区自主防災会
会長 田中芳久

